

2021年7月8日

報道関係者各位

慶應義塾大学

個人情報管理プラットフォーム「STAR」の実証研究に11社が参画 —トークンエコノミーで、就活生の成長に貢献しながら企業とマッチングする実証を開始—

慶應義塾大学経済学部附属経済研究所 FinTEK センター（以下、FinTEK センター）（東京都港区、センター長：中妻照雄）は、ブロックチェーンを用いた個人情報の管理・活用のためのシステム開発に関する研究「STAR（Secure Transmission And Recording）プロジェクト」において、トークンエコノミー*をプラットフォーム「STAR」内につくる第二段階の実証を、2021年8月から11社の企業、2,000名以上の学生と開始します。

*トークンエコノミーは、法定通貨や仮想通貨とは異なり交換対象を限定した代替通貨「トークン」を用いた経済圏です。

■ポイント

- ・「学生の個人情報を、学生自身の手に戻す」を目指し、第一段階実証を2020年8月に開始
- ・第二段階の実証では、トークンエコノミーをプラットフォーム「STAR」内につくる
- ・従来の就活では直接的に評価されづらい「学生の成長に関する情報」（学修履歴、学内のゼミやサークル活動、学外の活動等）にも、トークン「STAR コイン」により独自の価値を付与
- ・「STAR コイン」は、学生が情報開示をした際に企業から発行され、学生が STAR 独自の学びのコンテンツなどに利用可能
- ・本取り組みは、学生の成長に貢献しながら企業と学生のより良いマッチングを促進することを目指す

■概要

Society5.0の時代、「ビッグデータ社会」において、企業には、個人情報保護とパーソナルデータ活用の両立が求められる一方で、大学にとっては学生の個人情報を守りながら学生のキャリア支援を強化・改善することは責務です。

STAR プロジェクトは「学生の個人情報を、学生自身の手に戻す」をテーマとし、参加企業との3年間の実証研究を2020年8月から開始しました。

現在、慶應義塾大学を中心に2,000名以上の学生が登録、11社が参画しています。

【参画企業（参画順）】

株式会社三菱UFJ銀行、住友生命保険相互会社、SOMPOホールディングス株式会社
三井住友信託銀行株式会社、みずほリサーチ&テクノロジーズ株式会社、
S M B C 日興証券株式会社、コクヨ株式会社、国立大学法人広島大学・東広島市、
住友商事株式会社、株式会社 Too、他

■第一段階の実証 (2020年8月～2021年7月)

ブロックチェーンによる学生の個人情報管理プラットフォーム「STAR」のシステムのベースが完成し、企業と登録学生 2,000 名とのマッチングの実証を実施しました**。学生自身が応募を希望する企業を選択して自身の情報の閲覧権限を付与し、また閲覧した情報（ダウンロード不可）が情報開示期限と共に企業側から消滅することで、学生が自身で情報をコントロールできることが確認できました。

** 「ブロックチェーンによる学生の個人情報管理プラットフォームを共同開発 (STAR プロジェクト)」

<https://www.keio.ac.jp/ja/press-releases/files/2020/8/11/200811-1.pdf>

■第二段階の実証 (2021年8月～2022年7月予定)

トークンエコノミーを「STAR」内につくることで、学生の成長に貢献しながら企業と学生のより良いマッチングが促進されるかどうか、実証します。

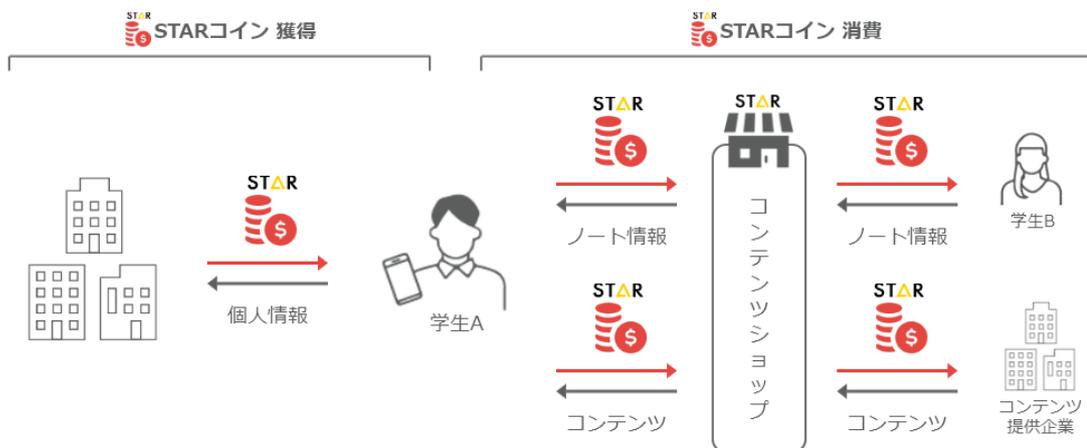
○スキーム

トークン「STAR コイン」に金銭的な価値はありませんが、「STAR」内の独自のコンテンツを利用することができます。「STAR コイン」は、企業が学生の情報開示を求める際に、情報量などに応じて企業が学生に発行します。

「STAR コイン」によって、従来の就活で評価されてきた成績表や履歴書情報だけでなく、「学生の成長に関する情報（学修履歴、学内のサークル活動、学外の活動など）」にも独自の価値が付与されます。この仕組みによる、学生、企業、大学のメリットは以下の通りです。

- 学生は、自分をより多角的な情報に基づいて評価してもらえるようになり、更にトークンを使って STAR 独自の学びのコンテンツを利用することができます。
- 企業は、学生が情報開示をした際に STAR トークンを渡すことで、学生の成長を応援しながら、より多くの情報と精緻なマッチングの機会を得て学生と出会うことができます。
- 大学は、学生の個人情報を守りながら、更に就職活動を学生の成長につなげることができます。学生は自身の個人情報の提供内容と閲覧期限に合意した後に企業側での閲覧が可能になりますが、ダウンロードはできません。期限が過ぎると個人情報は企業側から消滅するため、学生が意図しない状態で個人情報が閲覧されることはありません。

【STAR コイン トークンエコノミーのスキーム図】



○STAR コンテンツショップコンテンツ例

アート思考育成講座、編集スキル育成講座、金融・投資講座、全国の大学間交流ツアー、落語によるコミュニケーション講座、学生同士による学習メンタリング、就活写真撮影プラン

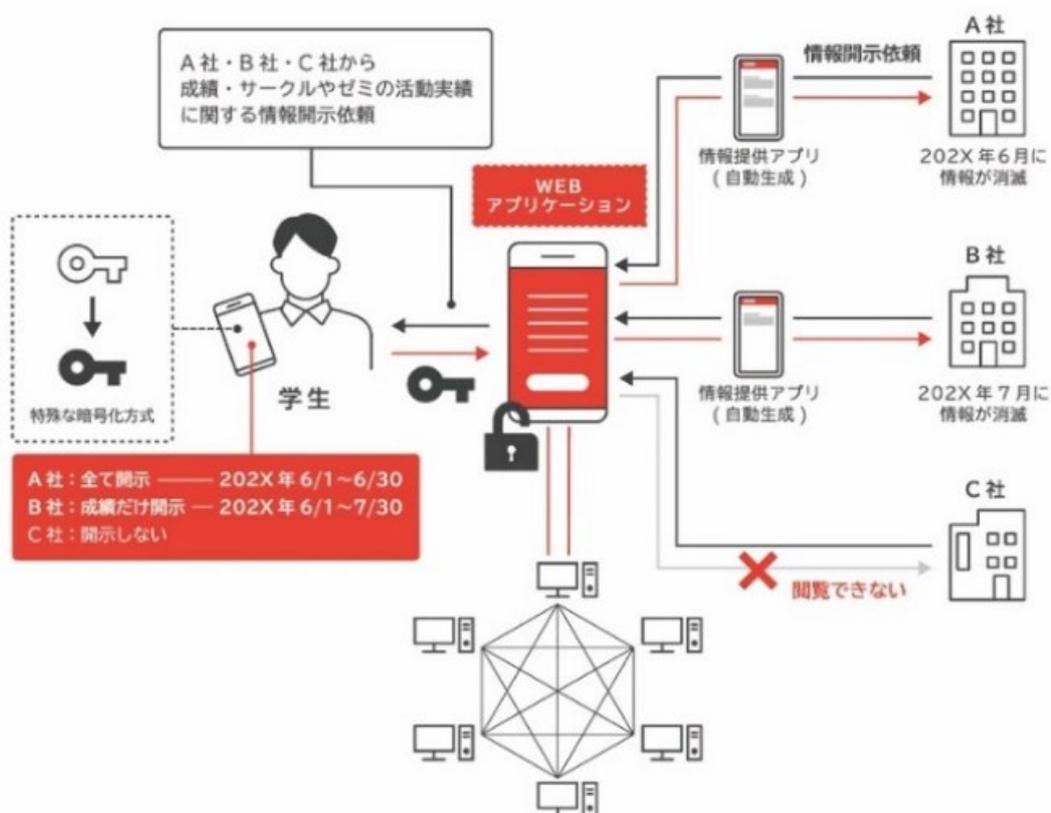
■今後の目標・展開

今年度中に「STAR」登録学生を、慶應義塾大学、広島大学、その他大学を含めて5,000人まで増やすことを目指し、参画企業数を15社まで増やしたいと考えています。

■STARプロジェクトとは

FinTEKセンターと参画企業により、ブロックチェーンを用いた個人情報の管理・活用を実現するシステム開発に関する3年間の共同研究「STAR (Secure Transmission And Recording) プロジェクト」です。その目的は、(1) 学生の個人情報提供における安全性と透明性の確保、(2) 学生と企業双方に有益な個人情報活用戦略の研究、(3) 学生と企業のマッチング精度向上です。STARプロジェクトは、FinTEKセンター、IGSと参画企業の三者による実証実験を通じて、学生と企業をつなぐプラットフォームの社会実装を目指します。

【マッチングイメージ】



■共同研究に関する問い合わせ先

- 慶應義塾大学経済学部附属経済研究所 FinTEK センター
センター長 経済学部教授 中妻 照雄 nakatuma@econ.keio.ac.jp

※ご取材の際には、事前に下記までご一報くださいますようお願い申し上げます。

※本リリースは文部科学記者会、各社社会部・教育部等に送信させていただいております。

- 本リリースの配信元
慶應義塾広報室 (豊田)
TEL : 03-5427-1541 FAX : 03-5441-7640
Email : m-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/>